

### 【新製品】液体水素プロセスライン用仕切弁

平田バルブ工業株式会社（本社：神奈川県川崎市 代表取締役社長：平田悦三）は、液体水素プロセスライン用仕切弁の開発に成功しました。

弊社は、日本初のLNG受入基地へのバルブ納入を皮切りに多くのLNG関連施設に採用いただくなど、極低温領域バルブの開発、納入に高い実績がございます。液体水素用としても1970年代より玉形弁の納入実績があり、その技術や知見をもとに開発した液体水素プロセスライン用玉形弁が国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）種子島宇宙センター様のロケット燃料供給設備に採用され、今日までご使用いただいております。

このたび液体水素プロセスライン用仕切弁の開発成功より、液体水素用の製品ラインナップの拡充を図りました。当該バルブは、2050年カーボンニュートラルに向けた水素社会時代に対応すべく弊社が独自に開発したバルブであり、液体水素の実液による漏洩試験においてもほぼ無漏洩の優れた締切力を持つバルブであることを確認いたしました。

今後につきましては、高圧化、大口径化、逆止弁開発を含む製品ラインナップのさらなる拡充を進めるとともに供給体制を整備し、拡大が見込まれる液体水素関連施設への需要に応じて参りたいと考えております。

弊社は1937年の創業以来、エネルギー関連施設向けを中心に、豊富な経験と実績に裏打ちされた信頼性の高いバルブを提供してまいりました。引き続き高品質のバルブ製造を通じて、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

#### 実流体試験



試験場所：JAXA 角田宇宙センター西地区 ロケットエンジン高空性能試験設備

本件に関するお客様からのお問い合わせ先

お問い合わせは弊社WEBサイトの「お問い合わせボタン」あるいは以下リンク先よりお願い申し上げます。

<https://www.hvi.co.jp/contact/>